

後ろ向き観察研究用

本院患者さんへの情報公開用文書（ホームページ、掲示用 周知文書）

自主臨床研究「覚醒下手術時の記憶に関する研究」についての説明

●はじめに：

覚醒下手術は脳腫瘍やてんかん患者さんに対して後遺症を最小限にすべく行われています。本研究の目的は、覚醒下手術の術前、術中覚醒時に記憶の評価を行うことで、覚醒下手術時の患者さんの状態を調査し、より安全な治療の確立に役立てることです。

●研究対象：

札幌医科大学附属病院において病院長承認日から2021年3月31日までに脳腫瘍またはてんかんと診断され、覚醒下手術にて治療を受けられる患者さんのうち、研究に同意していただいた方が対象となります。

●研究内容：

覚醒下手術の対象となる患者さんに術前、術中に2回記憶の評価を行い、それぞれを点数化します。1回目は術前に課題を提示して、術前に確認し、2回目は術中覚醒時に課題を提示して、術後に確認します。課題の内容は、5枚の絵もしくは文字の書いてある紙を提示し、翌日にその記憶を確認しその差異を評価します。

●患者さんの個人情報の管理について：

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化など秘密保護に十分配慮します。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

●患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について：

病院長承認日から2021年3月31日までに脳腫瘍またはてんかんと診断され、覚醒下手術にて治療を受けられる患者さんの中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡ください。

●予定症例数：

100例

●研究期間：

病院長承認日から2022年3月31日まで。

●医学上の貢献：

研究成果は、覚醒下手術時の患者さんの状態把握の一助となり、患者さんの治療と予後改善に貢献することが期待されます。

●問い合わせ先：

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学付属病院 脳神経外科

本院研究責任者 三國 信啓

同院研究分担者 三上 毅、秋山 幸功、江夏 怜、越智 さと子、栗原 伴佳

【平日 TEL (011) 611-2111 内線 3351 (教室) 休日・時間外 FAX (011) 614-1662】